

～ 豊かな水辺と緑のあるまち・松山市 ～

重信川緑地と石手川緑地の整備を推進しました

本市南部には一級河川である重信川とその支流である石手川が流れ、その河川敷は都市緑地として整備されています。

重信川緑地には、湧き水が小川を作り出し貴重な生態系を生み出している松原泉があり、子どもたちの安全教習のための交通公園があり、お年寄りのゲートボール場があり、若い人たちのためのソフトボールグラウンドやテニスコートがあって、誰もが楽しめる憩いの場であると同時にスポーツ・レクリエーションの場ともなっています。

また、本市の中心部近くの石手川緑地は桜の名所であり、ウォーキングや散策に適したコースを形作っています。また、小型犬専用のドッグランが増設されたり、スケートボードのための広場が整備されたり、都市部特有のニーズに応える整備も行われています。

よしみはこれまで、地域住民やボランティアの方々からの要望に基づき、重信川・石手川緑地のトイレ改修やグラウンド整備、施設拡充などのお手伝いをしてきました。これからも、地域の宝・松山の宝である両緑地の環境整備に尽力して参ります。

2019年11月 公明新聞掲載

小型犬 思う存分遊んで

松山市
専用のドッグランを新設

愛媛県松山市は、石手川緑地にあるドッグラン「わんパーク」にこのほど、小型犬専用のドッグランを新設した。公明党の吉富健一市議が昨年3月定例会で、大型犬とのトラブルを防ぐため小型犬専用施設の開設を要望し、推進してきた。ドッグランは、飼い犬をリードなしで自由に遊ばせることができる専用施設だが、大型犬や小型犬が一緒に同じ施設で遊ぶため、トラブルになるケースもあった。今回整備したドッグランは、従来の施設に隣接しており、広さは約100平方メートル。周りをフェンスで囲まれており、大型犬に遠慮することなく自由に走り回ることができる。利用時間は午前9時から午後5時までで、料金は無料。市公園緑地課の大内周二副主幹は「犬や飼い主のトラブルを防ぐために整備した。マナーを守って楽しく利用してほしい」と話していた。



小型犬専用ドッグランの利用状況について話を聞く吉富市議員

石手川公園の適正利用に注意喚起の看板を設置



石手川緑地
利用上の注意
火のこしよう、みんなの公園
花火禁止
バイク・ベキユ-禁止
ゴルフ禁止

緑地グラウンドのトイレを洋式化

松山市井門町の重信川緑地グラウンドのトイレがこのほど、洋式化され利用者から喜ばれている【写真】。このグラウンドは、地域の子どもたちがソフトボールの練習などで利用しているが、トイレの便器が和式だったため、保護者などから改善を求める声が上がっていた。

党員の河合恵子さんから相談を受けた公明党の吉富健一市議が、市スポーツシティ推進課に要望。その結果、3基の和式トイレが洋式化された。



新型コロナウイルス感染症対策について

吉富 健一 議員 (公明党議員団)

問 本市におけるコロナ後遺症の発症状況、相談状況および支援について問う。

答 本市独自の追跡調査は行っていないため全容は把握できていないが、味覚・嗅覚の異常や倦怠感などの後遺症に関する相談も寄せられていることから、後遺症に悩む患者が一定数いると考えている。相談状況については、県市合同の一般相談窓口のほか、市保健所でも相談に対応しており、症状に応じた専門の医療機関やかかりつけ医への受診を促している。後遺症の相談が寄せられた場合は、症状などを丁寧に聞き取り相談者に寄り添った対応を心掛けるとともに、後遺症に関する情報を市ホームページやLINEなどでも発信している。

問 重信川緑地の整備方針はどのようなものか問う。

答 重信川緑地は昭和51年に国で都市計画決定され、「都市の良好な生活環境を確保・創造し、屋外レクリエーション需要を担わせる」とともに、都市防災対策および環境保全の観点からも整備保全を図り、健全な都市の発展に役立てていくという整備方針のもと、遊具や運動施設を整備してきた。平成18年策定の「重信川水系河川整備基本方針」では、動植物の生息地・生育地の保全や良好な景観の維持・形成、人と河川との豊かなふれあいの確保などを考慮しながら、河川環境の整備と保全を図っていくこととされ、緑地内に泉や小川を再生し、自然に触れられる市民の憩いの場が整備されてきた。(都市整備部長)

問 その他の質問事項

(その他の質問事項)
人道的支援の協力、選挙制度の改善、保育士の確保、職員の休憩室

松山市議会 令和4年9月定例会一般質問

素鷲地域北側の石手川川底を整備



転落防止のため新中村橋の欄干をかさ上げ



新中村橋北側の危険箇所反射板を設置



重信川緑地のグラウンドなどを整備



重信川緑地のトイレを改修

